

市川三郷町の SDGs 取組に関して



令和 4 年 5 月

山梨県西八代郡市川三郷町



市川三郷町の SDG s 取組

市川三郷町では町政運営の指針である第 2 次総合計画や第 2 次総合戦略の目標を着実に達成するため各課で取り組むべき事業・課題を設定して公表し、着実に実行しております。又、令和元年度に策定されました第 2 次総合戦略に記載された通り、「地方創生 SDGs*」の推進も図っております。本町では各事業を SDGs の 17 の目標に関連づけてアクションを行い町政に取り組むと同時に 2030 年までに解決すべき社会課題の解決にも取り組んでいます。

*Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略であり、2015(平成 27)年 9 月に国連で採択され、地球上の誰一人として取り残さない世界を実現するための、17 のゴール(目標)と 169 のターゲットから構成された 2016 年から 2030 年までの国際目標。



四 尾 連 湖

目 次

第1章 SDGs とは

第2章 自治体行政の果たしうる役割

第3章 総合計画とSDG s

第1章 SDG s とは

SDG s とは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成 27（2015）年 9 月の国連サミットにおいて採択された先進国を含む国際社会の共通目標です。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、「令和 12（2030）年」を年限とする 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。ゴールは、ビジョンともいえる大目標で、比較的抽象的な表現で地球規模での目指すべき到達点が描かれている一方、ターゲットではより具体的な到達点が示されています。

SDG s には法的拘束力はありませんが、先進国・開発途上国を問わず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）が参画し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことが望まれています。



第2章 自治体行政の果たしうる役割

国際的な地方自治体の連合組織であるU C L G（United Cities and Local Governments）は、S D G sのゴールに対する地方自治体の果たしうる役割について、以下のとおり示しています。

目標（Goal） 自治体行政の果たしうる役割

	1. 貧困をなくそう <①貧困> 自治体行政は貧困で生活に苦しむ人々を支援する上で最も適したポジションにいます。各自治体において、すべての市民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援策が求められています。
	2. 飢餓をゼロに <②飢餓> 自治体は土地や水資源を含む自然資産を活用して農業や畜産などの食料生産の支援を行うことが可能です。そのためにも適切な土地利用計画が不可欠です。公的・私的な土地で都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することもできます。
	3. すべての人に健康と福祉を <③健康・福祉> 住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態を維持・改善に必要であるという研究も報告されています。
	4. 質の高い教育をみんなに <④教育> 教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取組は重要です。
	5. ジェンダー平等を実現しよう <⑤ジェンダー> 自治体による女性や子供等の弱者の人権を守る取組は大変重要です。また、自治体行政や社会システムにジェンダー平等を反映させるために、行政職員や審議会委員等における女性の割合を増やすのも重要な取組といえます。
	6. 安全な水とトイレを世界中に <⑥水・衛生> 安全で清潔な水へのアクセスは住民の日常生活を支える基盤です。水道事業は自治体の行政サービスとして提供されることが多く、水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことも自治体の大事な責務です。
	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに <⑦エネルギー> 公共建築物に対して率先して省エネや再エネ利用を推進したり、住民が省／再エネ対策を推進するのを支援する等、安価かつ効率的で信頼性の高い持続可能なエネルギー源利用のアクセスを増やすことも自治体の大きな役割といえます。

	8. 働きがいも経済成長も <⑧経済成長・雇用> 自治体は経済成長戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。
	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう <⑨インフラ・産業基盤> 自治体は地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たなイノベーションを創出することにも貢献することができます。
	10. 人や国の不平等をなくそう <⑩平等> 差別や偏見の解消を推進する上でも自治体は主導的な役割を担うことができます。少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うことが求められています。
	11. 住み続けられるまちづくりを <⑪持続可能都市> 包摂的で、安全、レジリエントで持続可能なまちづくりを進めることは首長や自治体行政職員にとって究極的な目標であり、存在理由そのものです。都市化が進む世界の中で自治体行政の果たし得る役割は益々大きくなっています。
	12. つくる責任つかう責任 <⑫生産・消費> 環境負荷削減を進める上で持続可能な生産と消費は非常に重要なテーマです。これを推進するためには市民一人一人の意識や行動を見直す必要があります。省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことで自治体はこの流れを加速させることが可能です。
	13. 気候変動に具体的な対策を <⑬気候変動> 気候変動問題は年々深刻化し、既に多くの形でその影響は顕在化しています。従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定を各自治体で行うことが求められています。
	14. 海の豊かさを守ろう <⑭海洋資源> 海洋汚染の原因の8割は陸上の活動に起因していると言われています。まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないように、臨海都市だけでなくすべての自治体で汚染対策を講じることが重要です。
	15. 陸の豊かさを守ろう <⑮陸上資源> 自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があり、自治体が大きな役割を有するといえます。自然資産を広域に保護するためには、自治体単独で対策を講じるのではなく、国や周辺自治体、その他関係者との連携が不可欠です。
	16. 平和と公正をすべての人に <⑯平和・公正> 平和で公正な社会を作る上でも自治体は大きな責務を負っています。地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進して、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割といえます。
	17. パートナーシップで、目標を達成しよう <⑰パートナーシップ> 自治体は公的／民間セクター、市民、NGO／NPOなどの多くの関係者を結びつけ、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。

第3章 総合計画とSDGs

本町の将来像に向け取り組むべき施策を、総合計画における基本的な考え方の「誇れるまち」、「賑わうまち」、「安全・安心なまち」、「繋がるまち」の理念に基づき、施策体系で示しており、それぞれの取組とSDGsをマッチングして表します。

計画の期間に関してはSDGsが令和12（2030）年までの目標であることを念頭に、総合計画と一体的な推進を図るため第2次総合計画の計画期間が令和8（2026）年度までであることを踏まえて取り組みます。

施策体系

誇れるまち

1 ふるさとを愛するまちづくり

2 子育てしやすいまちづくり

3 文化や歴史を守るまちづくり

4 人にやさしいまちづくり

賑わうまち

1 交流するまちづくり

2 活力あふれるまちづくり

3 移住・定住しやすいまちづくり

4 男女がともに活躍するまちづくり

安全・安心なまち

1 災害に強いまちづくり

2 健康に暮らせるまちづくり

3 快適に暮らしやすいまちづくり

4 自然と共生するまちづくり

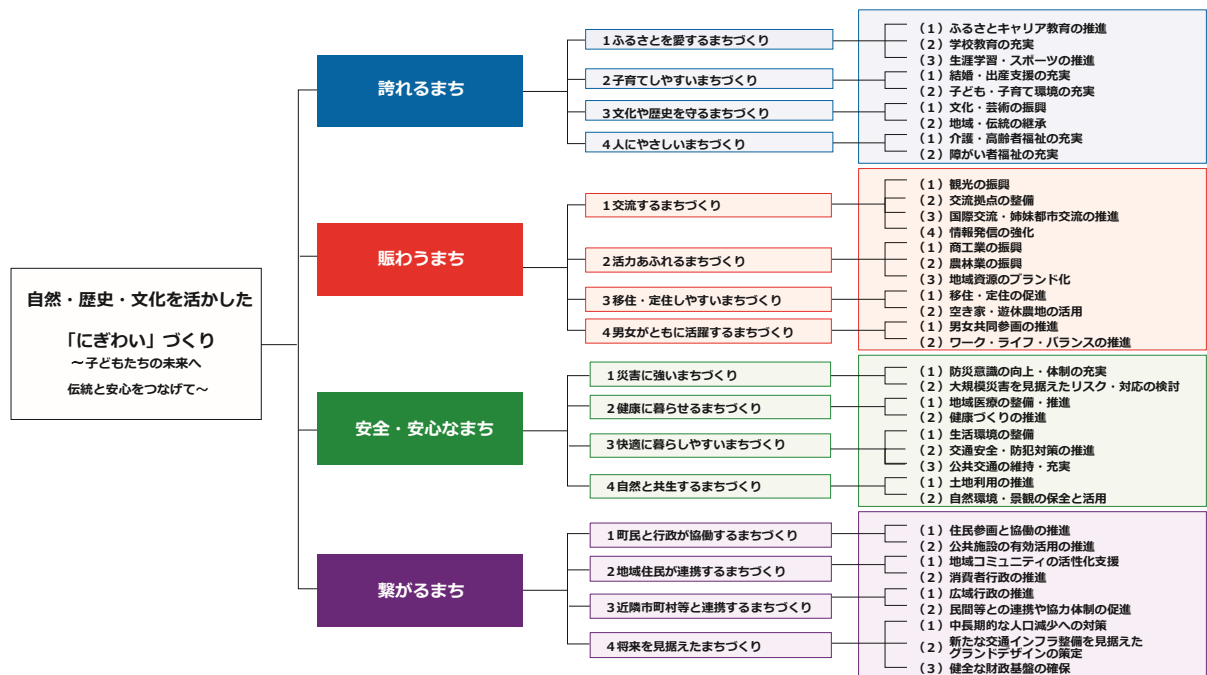
繋がるまち

1 町民と行政が協働するまちづくり

2 地域住民が連携するまちづくり

3 近隣市町村等と連携するまちづくり

4 将来を見据えたまちづくり



平成29年3月市川三郷町第2次総合計画より

誇れるまち

1 ふるさとを愛するまちづくり

(1) ふるさととキャリア教育の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
		(計算式)			
ふるさととキャリア教育の推進	ふるさととキャリア教育の方向性の検討	ふるさととキャリア教育推進に向けての検討会の実施	実施	 	4.1 11.1

(2) 学校教育の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
		(計算式)			
教育内容の充実	ことばの森教室の参加者の割合	ことばの森教室の参加者数÷管内小中学校の児童・生徒数×100	20.0%		4.6
	文化芸術の鑑賞会を実施した学校の割合	文化芸術の鑑賞会を実施した学校÷町立小中学校数×100	100%	 	4.1 17.17
	給食に地元の食材を使用した食材数	給食に使用する町内産の食材数(食材1つで1カウント)	300品/年	 	2.1 12.5
教育環境の充実	町単講師等の配置人数	管内小中学校に配置する町単独採用講師(非常勤0.5人含む)、学校司書、学校用務員、特別支援教育支援員の人数	35人	   	4.3 8.5 10.4 17.17
	地域から学校を支援する組織の数	地域から学校を支援する組織の数	4組織	  	4.3 8.5 17.17

(3) 生涯学習・スポーツの推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
生涯学習施設の整備	図書の貸し出しの数	図書の貸し出し年間延べ数	62,000冊		4.6
生涯学習の機会の創出	生涯学習講座の参加者数	町と地区公民館が主催する生涯学習講座の参加者数（年間）	3,150人	 	3.8 4.3
		体協加入者の割合 (加入者数÷6歳以上の人口)×100			3.8
スポーツ施設の機能充実	体育施設の利用者数	町が主催するスポーツ事業の参加者数（年間）	4,000人		3.8
住民のスポーツ意識の啓発	町内外スポーツ交流人口	町内外スポーツ交流事業の年間参加者数	1,000人		3.8



2 子育てしやすいまちづくり

(1) 結婚・出産支援の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
婚活支援の充実	婚活支援等のイベント参加者数	町開催婚活イベントの町民参加者数（年間）	60人		11.a
出産支援の充実	SNSを活用した妊娠・出産・子育て支援の閲覧数	SNSを活用した妊娠・出産・子育て支援の閲覧数（「いいね」の数）	70件		5.1

(2) 子ども・子育て環境の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
子育て環境の整備	保育所の入園希望者数	新規入園希望者数	90人		11.7
子育て支援の充実	延長保育実施状況	延長保育を行う施設数と収容人数	5施設310人		11.7
	ファミリー・サポート・センター事業の登録会員数	ファミリー・サポート・センター事業の登録会員数	270人	  	3.2 5.1 8.5
幼児期からの食育の推進	食育教室の参加者数	離乳食教室 + 食改教室の年間参加者数	320人		3.2
言葉に触れる機会の推進	読み聞かせ教室開催数	読み聞かせ教室の開催数（管内幼児施設での年間開催数）	120回		4.2

3 文化や歴史を守るまちづくり

(1) 文化・芸術の振興

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
文化・芸術活動の推進	文化協会加入者数	協会加入者数÷20歳以上の人口×100	5.0%	 	4.5 11.4

(2) 地域・伝統の継承

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
		(計算式)			
伝統文化・文化財の保護	伝統芸能保存団体加入者数	伝統芸能保存団体新規加入者数延べ人数 (H29 年から)	10人	 	4.7 11.4
伝統産業後継者支援の推進	伝統産業の継承者数	手漉き和紙、印章の継承者数	10人	 	9.2 12.b

4 人にやさしいまちづくり

(1) 介護・高齢者福祉の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
		(計算式)			
高齢者が元気に暮らせる社会づくり	生きがいがある高齢者の割合	介護予防・日常生活圏域二一ス調査で「生きがいあり」と回答した人の割合 (一般高齢者)	60.0%	 	3.8 11.7
自立支援・介護予防・重度化防止に向けた取り組み	要支援・要介護認定率	第1号被保険者数 ÷ 65歳以上の人口 × 100	19.4%	 	3.8 11.3
在宅生活を続けるための生活支援	生活支援関係機関との連携に向けた取り組み	市川三郷町にあったらしいなを作る会の年間開催数	6 回	 	3.8 11.3
	生活支援コーディネーターの複数配置	第1層・第2層コーディネーターの設置数	第1層・第2層3名	 	3.8 11.3
医療と介護の連携を推進するための仕組みづくり	情報共有・意識啓発の機会	関係者や住民対象の研修会年間開催数	7 回		3.8
認知症の人と家族を支える仕組みづくり	認知症サポーターとなった住民や関係者の数	認知症サポーター養成講座延べ受講者数	3,500人		3.8
地域包括支援センター事業の推進	地域包括支援センターの住民認知度	介護予防・日常生活圏域二一ス調査の地域包括支援センター認知割合 (一般高齢者)	55.2%		3.8
持続可能な介護保険制度の確保	実地指導を行った事業所数	実地指導を行った事業所の実数 (年間)	10 事業所	 	3.8 11.3

(2) 障がい者福祉の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度（R8）	SDGs			ターゲット
ボランティア活動の推進 と地域福祉の充実	手話教室の受講者数	手話教室の受講者延 べ人数（再受講者も 含む）	500人				3.8 4.4 11.1
障害者自立支援法に基づ いた福祉サービスの提供	地域活動支援セン ター利用者数	地域活動支援セン ター利用者数	20人				3.8 11.7



賑わうまち

1 交流するまちづくり

(1) 観光の振興

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
観光振興の推進	町の観光振興の強化を図る指標	神明の花火大会有料観覧座席数	7,720 席	 	9.2 11.4
	市川三郷フォトコンテスト応募数	市川三郷フォトコンテスト応募数	140 点	 	11.4 15.4
	農作業収穫体験等観光のグリーンツーリズムのツアー・イベント等の回数	農作業収穫体験等観光のグリーンツーリズムのツアー・イベント等の回数（年間）	20 回	  	3.9 13.1 15.9
観光施設内の文化活動の推進	大門碑林全国書道展出品数	大門碑林全国書道展一般の部出品数	840 品		4.4

(2) 交流拠点の整備

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
交流拠点整備の推進	町の観光拠点の度合いを図る指標	みたまの湯年間利用者数	27.3 万人	   	3.8 8.9 11.7 15.4
	六郷インターチェンジ周辺整備の検討	六郷インターチェンジ周辺整備検討会の実施	実施	 	11.a 17.17

(3) 国際交流・姉妹都市交流の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
国際理解の促進	異文化交流の実施回数	イングリッシュキャンプ実施回数（年）	3回	   	4.3 10.2 16.10 17.17
姉妹都市との交流の推進	派遣交流の延べ人数	本町からの訪問団員派遣延べ人数	320人	  	4.7 10.2 16.7
姉妹町との交流の推進	宿泊助成制度の利用者数	宿泊助成制度を利用して西伊豆町の宿泊施設を利用した人数（年間）	155人	  	14.2 15.4 17.17

(4) 情報発信の強化

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
情報発信の強化	情報通信基盤の整備推進	公衆無線LANの整備箇所数	16箇所		9.1
地域情報化の推進	学校情報基盤の整備	PC台数÷（PC教室のPC台数＋（普通教室2台×教室数）＋教師総数）×100	100%		4.4
電子自治体の推進	事業継続計画（ICT-BCP）の策定	事業継続計画（ICT-BCP）の策定（2021年度以降は定期的な改訂とする）	改訂		9.1
情報公開の推進による町民サービスの向上	SNSを活用した情報公開の閲覧数	年間を通して1投稿記事に対しての最高閲覧数	6,000アクセス		9.1

2 活気あふれるまちづくり

(1) 商工業の振興

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs			ターゲット
商工業の振興	新規開業店舗数	新規開業店舗数 (年間)	10 店				8.9
	新規創業者数	新規創業者数 (年間)	5 人				8.9
	商店街活性化イベントの開催回数	町内各地区の街かど で開催するイベント の年間開催回数	5 地区 20 回	 			8.9 17.17
	体験ツアー参加者数	地場産業体験ツアー 参加者延べ人数	1,500 人	  			4.4 8.9 17.17

(2) 農林業の振興

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs			ターゲット
農業経営基盤の整備	圃場整備の進捗率	整備済面積÷整備計 画面積 (78ha) × 100	85.0%	 			11.a 15.9
	農道・集落道の整備率	整備済延長÷整備計 画延長 (7.1km) × 100	100%				11.a
農業経営安定対策の推進	新規就農者の受入体制状況及び就農者の支援状況を示す値	新規就農者の受入者 数÷目標就農者数 (17 名) ×100	100%	 			8.9 15.2
林業の振興	林道の整備率	整備済延長÷整備計 画延長 (2km) × 100	90.0%				11.a

(3) 地域資源のブランド化

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs			ターゲット
地域資源の活用推進	ブランド価値の向上	「NOPPUI」認証数	5 件	 			9.2 15.2
	特産品の新規開発数	特産品への支援・補 助件数	10 件				8.9

3 移住・定住しやすいまちづくり

(1) 移住・定住化の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
暮らしやすい住宅環境の整備	新規転入・転居者数	市川三郷町若者定住促進住宅補助金交付件数	340 件		11.1
	町営住宅の整備率	整備戸数÷計画戸数×100 (計画戸数230戸)	100%		11.3
若者等移住の推進	地域おこし協力隊の採用人数	地域おこし協力隊(農業協力隊は除く)の採用人数	4 名	 	8.9 9.2

(2) 空き家・遊休農地の活用

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
空き家・遊休農地の効果的な活用	空き家バンク登録件数	空き家バンク新規登録件数 (年)	10 件	 	11.3 12.8
	耕作放棄地率	耕作放棄地面積÷農地面積×100	6.2%	 	11.a 12.2

4 男女がともに活躍するまちづくり

(1) 男女共同参画の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
男女共同参画の意識醸成と豊かな地域社会づくり	審議会などにおける女性委員の比率	主な付属機関における女性委員の数÷町の事務事業について必要な審査・審議又は調査等を行うために設置された付属機関の総委員数×100	35.0%	  	5.5 8.5 9.1
男女がともに活躍する社会づくり	啓発活動の実施回数	男女平等の意識確立のための広報等による啓発活動の実施回数	17 回 / 年		5.5
男女がともに安心して健康やかに暮らせる町づくり	講演会や講座等の開催回数	健康や性に関する学習会、子育てや介護等における男女共同分担を促すための講座の開催回数	40 回 / 年		5.c

(2) ワーク・ライフ・バランスの推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
ワーク・ライフ・バランスの推進	職場環境改善の指標	市川三郷町役場の高ストレス者割合 (高ストレス者 / 職員数 × 100)	5.3%		8.5
	ワーク・ライフ・バランスの啓発活動	町民へのワーク・ライフ・バランス推進のための啓発活動実施回数 (年)	3 回 / 年		8.5



安全・安心なまち

1 災害に強いまちづくり

(1) 防災意識の向上・体制の充実

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
自主防災組織の充実と活性化	防災訓練参加者数	町で開催する防災訓練の参加者数と防災教室の回数	4,200 人		11.b
	防災教室開催回数		10 回		11.b
	自主防災組織設の防災訓練等実施率	自主防災組織訓練実施組織÷全自主防災組織	80.0%		11.b
災害対策資機材・施設の充実	消防力の強化	消防団員数	410 人	 	11.b 16.6
建築物の耐震化促進	公共施設の耐震化率	公共施設の耐震化率 (地震防災施設の現状に関する全国調査)	100%	 	11.b 12.8
自然災害への対策強化	洪水等ハザードマップの更新	洪水ハザードマップの更新 (2026 年度は国・県の浸水想定区域の変更に応じて対応とする)	再更新	 	11.b 12.8

(2) 大規模災害を見据えたリスク・対応の検討

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
大規模災害の際の生活基盤の迅速な復旧と経済活動の持続	公共下水道の耐震化	耐震化管渠整備済延長÷耐震化管渠計画延長×100	45.0%	  	6.2 9.1 11.3
	事業継続計画 (BCP) の策定	事業継続計画 (BCP) の策定 (2021 年度以降は定期的な改訂とする)	改訂	 	11.b 12.8
	避難所運営マニュアルの策定	避難所運営マニュアルの策定 (2021 年度以降は定期的な改訂とする)	改訂	   	6.6 10.2 11.b 12.8

2 健康に暮らせるまちづくり

(1) 地域医療の整備・推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
地域医療の推進	町営国保診療所診療 開所率 (午前・午後)	開所率 = 診療目標回 数 (午前・午後の開 所) ÷ 診療開所回数 (週 10 回) × 100 ※月、火、木、金 2 回水、土 午前 1 回計 10 回	80.0%		3.8
緊急時の医療体制の推進	医療機関・消防署と 連携した救急患者受 入訓練回数	防災訓練時等に行う 救急患者受入訓練延 べ回数	12 回	  	3.6 11.5 16.6

(2) 健康づくりの推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
生活習慣病対策の充実	特定健診受診率健康 診断受診率	国民健康保険特定健 診受診率 / 年	60.0%		3.8
	新規透析導入者の人 数	新規透析導入者の人 数 / 年	5 人		3.a
	がん検診受診意識の 啓発の機会の回数	がん検診受診意識啓 発の機会の回数 / 年	4 回		3.a
健康づくりの推進	心の健康 (自殺予防 を含む) について理 解した人の数	ゲートキーパー養成 研修会受講者延べ人 数	800 人	 	3.4 11.7
	健康づくり施設の利 用者数	ニードスポーツセン ター利用者数 / 年	20,000 人	 	3.8 11.7

3 快適に暮らしやすいまちづくり

(1) 生活環境の整備

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
生活道路の整備	狭あい道路の拡幅箇所数	狭あい道路に面する敷地の建築行為時に拡幅を行う延べ箇所数	270 箇所		11.7
	町道の歩道整備率	歩道整備済延長 ÷ 歩道設置計画町道の総延長 × 100	100%		11.3
水質保全の啓発	水質保全に向けての啓発活動数	水質保全啓発活動を行った広報・町内回覧数 (年間)	8 回	 	6.3 14.1
老朽化した水道施設等の改修・更新	老朽管の延長	老朽管19,026mの改修による残延長	12,276m	  	6.1 9.1 11.3
水道事業の運営の健全化	水道ビジョンの策定	今後の具体的な事業進捗過程	策定済	  	6.4 9.1 11.3
下水道普及率及び水洗化率の向上	全体計画に対する下水道整備率	公示済処理区域面積 ÷ 全体計画面積 × 100	90.0%	  	6.1 9.1 11.3

(2) 交通安全・防犯対策の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
交通安全対策の推進	交通弱者 (幼児・高齢者) の交通安全教室の開催	幼児・高齢者の交通安全意識向上のための教室開催回数 (年間)	45 回	 	11.2 16.3
地域防犯活動の取り組みに対する支援	防犯パトロールカーによる巡回	1日あたりの延べ運行時間 (2台分)	6 時間	 	11.2 16.6
地域防犯活動の取り組みに対する支援	放置自転車撤去事業箇所数	盗難防止のための放置自転車撤去の事業展開箇所数	6 箇所		11.2
防犯についての安全教育の充実	防犯訓練・防犯教室の実施	防犯教室を実施した小学校数	6 校		16.3

(3) 公共交通の維持・充実

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
公共交通機関の充実	コミュニティバスの乗客数	コミュニティバスの乗客の数	16,700人	9 産業と資源効率の 向上につなぐ 11 住み続けられる まちづくりを	9.1 11.2
	J R 身延線の乗客数	町内7駅の定期券以 外の乗客数	107,000人	11 住み続けられる まちづくりを	11.2
公共交通利用の促進	市川大門駅利用者数	市川大門駅乗車券販 売取扱件数	60,000 件	11 住み続けられる まちづくりを	11.2

4 自然と共生するまちづくり

(1) 土地利用の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
効率的な土地利用の推進	地籍調査の進捗率	実施済面積÷計画面 積×100	63.1%	11 住み続けられる まちづくりを 13 気候変動に 適応する	11.a 13.1
森里山エリアの充実	町土に対する森林の 割合	森林面積÷町土面積 ×100 (現状を維持 する)	63.7%	6 安全な水とトイレ を世界中に 13 気候変動に 適応する 7 エネルギーと気候に 対応する 11 住み続けられる まちづくりを 15 陸の豊かさを 守る	6.3 7.1 11.3 13.1 15.2
田園エリアの充実	滞在型農園整備の状 況	滞在型農園整備の整 備箇所数	1 箇所	2 気候と 地域に 11 住み続けられる まちづくりを 15 陸の豊かさを 守る	2.4 11.3 15.2
市街地エリアの充実	街路の整備率	街路の整備済み延長 ÷2016年度現在都 市計画決定済街路の 総延長×100	35.0%	11 住み続けられる まちづくりを	11.7

(2) 自然環境・景観の保全と活用

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
景観形成活動の実施と推 進	地域景観リーダー育 成	地域の景観リーダ ーの数	3人	11 住み続けられる まちづくりを	11.4
環境悪化の懸念に対する 積極的な改善	環境美化の啓発活動 の参加人数	市川・大同地区空き 缶一斉収集参加者数	120人	11 住み続けられる まちづくりを 12 つくし 14 海の豊かさを 守る	11.6 12.4 14.1
生活環境の整備	リサイクル品目の処 理量	代表的リサイクル品 目の回収量 (年間)	1,396 t	11 住み続けられる まちづくりを 12 つくし 14 海の豊かさを 守る	11.6 12.4 14.1

繋がるまち

1 住民と行政が協働するまちづくり

(1) 住民参画と協働の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
住民参画機会の拡充	住民参加のまちづくり開催数	市川地区中央部まちづくり意見交換会の開催回数	3回		11.3
住民団体との連携と強化	町民と本町出身者による連携型県人会の登録会員数	連携型県人会市川三郷町ゆかりの会「りんどう」登録会員数	50人		17.17

(2) 公共施設の有効活用の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
効率的な施設の有効活用	公共施設に対する町民の満足度	町民アンケート調査において肯定的な回答をした人の割合	45.0%		17.17

2 地域住民が連携するまちづくり

(1) 地域コミュニティの活性化支援

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
地域コミュニティの活動支援	地域コミュニティの活動拠点数	社会福祉協議会で把握するサロンの設置数	30箇所	  	3.8 11.7 17.17

(2) 消費者行政の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
情報提供による啓発	消費生活相談窓口の 広報活動の状況指標	消費生活相談窓口開 設の広報周知回数 (年)	24 回	 	4.7 12.8
消費生活相談の充実	消費生活相談窓口の 相談件数	消費生活相談窓口の 相談件数 (年)	200 件	 	4.7 12.8

3 近隣市町村等との連携するするまちづくり

(1) 広域行政の推進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
広域的な行政の推進	周辺自治体と連携し た観光等イベント開 催数	峡南地区町村と連携 した観光等のイベン ト開催数 (年間)	3 回	   	4.7 8.9 11.4 17.17

(2) 民間との連携や協力体制の促進

施策の方向	指標	指標の算出方法 (計算式)	2026年度 (R8)	SDGs	ターゲット
民間等との連携や協力体 制の推進	ふるさと納税返礼品 協力事業者数	ふるさと納税返礼品 協力事業者数	30 事業者	   	4.4 8.9 12.8 17.17

4 将来を見据えたまちづくり

(1) 中長期的な人口減少への対策

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
中長期的な人口減少への対応	中長期的な人口減少への対応	市川三郷町人口ビジョンの目標人口達成度	15,300 人	  	8.9 11.3 17.17

(2) 新たな交通インフラ整備を見据えたグランドデザインの策定

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
新たな交通インフラ整備を見据えたグランドデザインの策定	市川三郷町グランドデザインの策定と推進	市川三郷町グランドデザインの策定と推進の進捗	策定	 	11.2 17.17

(3) 健全な財政基盤の確保

施策の方向	指標	指標の算出方法	2026年度（R8）	SDGs	ターゲット
		（計算式）			
行政運営の効率化	行政改革に対する市民の満足度	町民アンケート調査において肯定的な回答をした人の割合	45.0%	 	8.5 11.3
財政運営の健全化	経常収支比率	経常的経費÷経常一般財源÷経常一般財源総額×100	75.0%		11.3

以上